

# 小・中・高生による協働学習と情報活用の実践研究

大阪府私立羽衣学園高等学校 英語科・情報科 米田 謙三

[kenzoo@cd5.so-net.ne.jp](mailto:kenzoo@cd5.so-net.ne.jp)

キーワード：小・中・高校，異年齢交流，産学連携，TV会議，英語，総合的学習，コミュニケーション能力

## 1. はじめに

「ユネスコ・世界寺子屋運動」をテーマに、異年齢の交流（小・中・高が協働で連携（学習）する）を通してまた海外の生徒とのやり取りを通してそれぞれの世代の考え方や違いを実感し、「国際理解・平和教育・福祉教育」は勿論情報活用の実践力を深める目的で、本事業を実施したものである。

## 2. プロジェクトの概要

世界寺子屋運動をテーマに、全国の小・中・高校計21校が参加する。下記の通り3つのタームで実施する。

内容としては、小中高校 合同ワークショップ（掲示板やTV会議による交流） 外部とのワークショップ（外部講師や産業界の協力によるWS）を中心にする。前者は、①「ユネスコ」に対するイメージ理解 ②リーフレットのポイント学習 ③調査研究活動 ④海外交流校・国内学校との意見交換 ⑤TV会議による意見交換会を中心とし、後者は、①「ユネスコ」国際交流会参加 ②世界の学校とTV会議交流 ③個人研究からグループ研究へ（発表・共有・振かえり） ④モラル学習（産業界講師）やリーフレット学習（専門家による指導）など産業界からの講師を招く。

### （1）第一ターム

時期は、1学期から夏休みの期間でまずはユネスコ世界寺子屋運動についてユネスコ協会連盟の教材を活用して学習をすすめる。途中、TV会議や掲示板を利用し、参加校同士の交流を始める。（情報の発信）



写真1 TV会議様子(左)

写真2 学園祭様子(左)

写真3 最優秀作品

（本校生徒作品）（右）



### （2）第二ターム

時期は、2学期から冬休みの期間で ユネスコ世界寺子屋運動の学習を深めるためにゲストティーチャーに來校してもらう。（ライブ発信も実施）。また、リーフレットづくりの実施を素材画像をもとに作成し始める。途中専門家に助言・指導をいただいたり、TV会議や掲示板の具体的な活用を始める。（情報の共有から活用）また、学園祭やイベントで活動を発表する。また海外の学校ともTV会議などを用いて交流を図る。また 実際に 海外訪問し意見交換も実施する。（8月マレーシア 2名、8月シンガポール 5名、12月台湾 2名） また海外からの訪問も受け入れる。（9月アフガニスタン 2名 通年オーストラリア、カナダ 各1名） また 産学連携の流れとして 携帯電話に関するモラル学習の授業を実施する。

### （3）第三ターム

時期は、3学期の期間で リーフレットづくりの完成・振り返りを各学校で発表・意見交換（情報の分析）し代表作品を決定する。またボランティア活動の計画を実施する。（書きそんじハガキを集めたりする）また いろいろな場所で 自分たちの考えを発表する。（1月 大阪ユネスコ協会スピーチコンテスト参加）また第二タームに続き 海外の生徒と交流を図る。（受け入れ 2月 韓国 15名）

## 3. プロジェクトの特徴

### 3.1 異年齢交流

それぞれの世代の考え方や違いを一つのプロジェクトを通して実感することができる。同じ学校以外の先生やゲストティーチャーに触れることにより（特に ユネスコの現地訪問者のレクチャー）今までとは違う本物の迫力を感じながら 具体的に学びボランティア精神や平和について考えたり、自分自身の今後の生活を見直すきっかけになった。

### 3.2 情報活用実践力

リーフレットづくりでは情報活用の実践力を TV会議などではコミュニケーション能力の向上（海外との交流では英語）も見られた。またリーフレットに関しては、本校生の作品が最優秀作品に選ばれ、実際全国のある書店から約20万部配布された。またいろいろな書籍にも掲載された。